

広 報

ふれあい・ひろがる・ふるさと7市2町2村 No.80

いんば 広域

2008年 新春号

目次

- 2 平成18年度一般会計決算状況について
- 3 平成18年度水道用水供給事業決算状況について
- 4 よしきり御案内
- 5 NEWS INBA
就印旛沼環境基金からのお知らせです！（「08いんば沼シンポジウム」の開催について）
- 6・7 INBA INFORMATION
- 8 印旛郡市の人口 ほか

表紙の写真
白井八景
「瀬戸秋月
(せとしゅうげつ)」

平成18年度一般会計決算状況について

印旛郡市広域市町村圏事務組合は、構成団体である印旛郡市7市2町2村（成田市・佐倉市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市・酒々井町・印旛村・本埜村・栄町）からの負担金と軽費老人ホームよしきりの入所者からの使用料および千葉県からの補助金を主な財源として、構成市町村の事務を共同で処理しています。

平成18年度一般会計決算状況

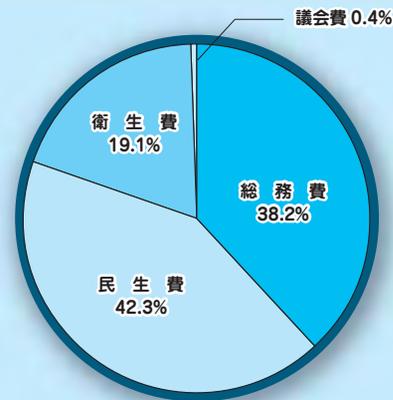
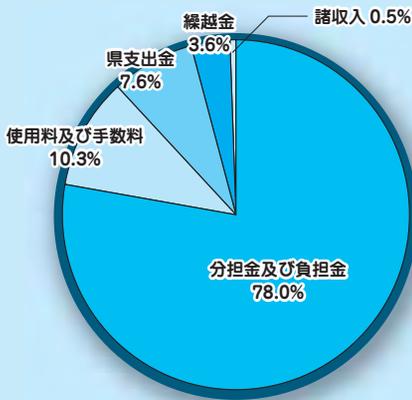
歳入		単位：円
歳入	321,528,546	前年度比 3.2%増

内 訳	金額	構成比
分担金及び負担金 (構成市町村からの負担金)	250,824,000	78.0%
使用料及び手数料 (軽費老人ホームよしきりの入所者からの使用料)	32,984,386	10.3%
県支出金 (民生費・衛生費に対する県からの補助金)	24,470,000	7.6%
繰越金 (平成17年度予算からの繰越金)	11,585,309	3.6%
諸収入	1,664,851	0.5%

歳出		単位：円
歳出	294,081,958	前年度比 2%減

内 訳	金額	構成比
議会費 (議会に要した経費)	1,206,662	0.4%
総務費 (共同研修・共同採用試験等広域事業に要した経費)	112,400,806	38.2%
民生費 (軽費老人ホームよしきりの運営に要した経費)	124,352,470	42.3%
衛生費 (第二次救急医療・小児救急医療に要した経費)	56,122,020	19.1%

※歳入から歳出を差し引いた残金 27,446,588 円は、翌年度予算への繰越金となります。



安全な水をお届けするために...

印旛郡市広域市町村圏事務組合では、一般家庭や学校などへ水を送っている印旛地区の7市1町1村1企業団（成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、印旛村、長門川水道企業団）に水道用水を供給しています。

平成18年度決算は黒字となりましたが、引き続き効率的な事業経営を図るとともに、安全な水の安定した供給に努めてまいります。

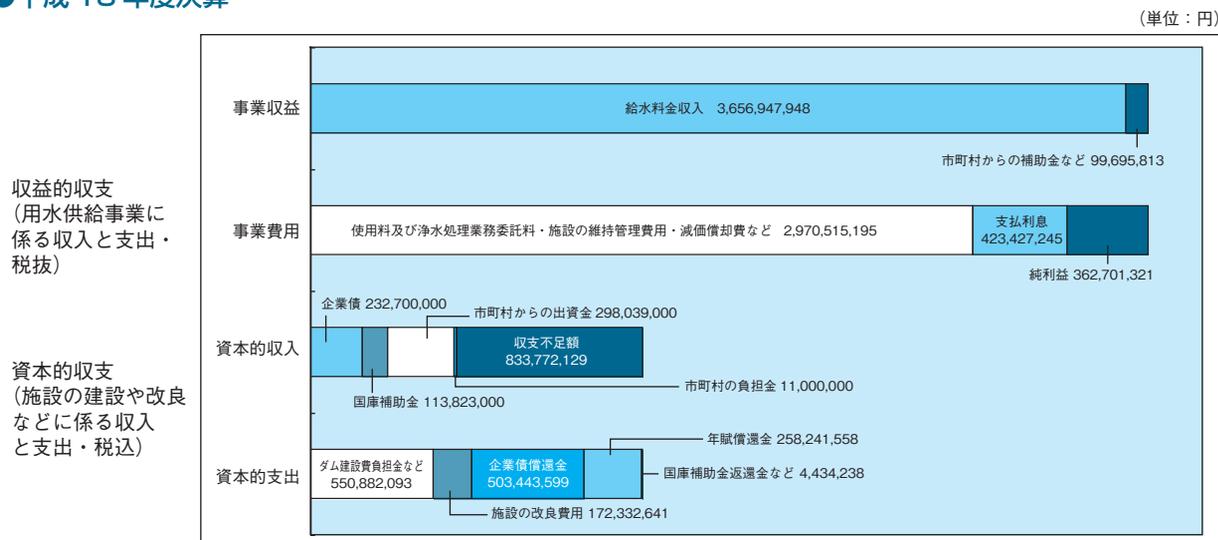
1. 収益的収支（水を供給するための収入及び支出）

平成18年度の供給水量は1,802万4,801立方メートルとなり、収入はこの供給水量に見合う料金を構成団体からいただく給水料金などの37億5,664万3,761円であり、支出については構成団体へ給水するために千葉県水道局に支払う使用料及び委託料などの33億9,394万2,440円でした。この結果、純利益は3億6,270万1,321円となりました。

2. 資本的収支（施設などをつくるための収入及び支出）

収入は市町村からの出資金などの6億5,556万2,000円であり、これを財源に皆さんの飲料水等を貯めるダム建設の事業費負担金などに14億8,933万4,129円を支出しました。なお、この収入に対して不足した8億3,377万2,129円は、留保資金などを充てて補てんしました。（下記グラフを参照して下さい。）

●平成18年度決算



●平成18年度決算貸借対照表（消費税及び地方消費税抜き表示）

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
1 固定資産	23,508,399,796	3 固定負債	1,810,866,287
(1) 有形固定資産	16,747,647,345	(1) 年賦未払金	1,810,866,287
(2) 無形固定資産	6,760,752,451	4 流動負債	222,699,991
2 流動資産	1,667,592,394	(1) 未払金	222,099,551
(1) 現金預金	1,346,541,102	(2) その他流動負債	600,440
(2) 未収金	320,657,532	負債合計	2,033,566,278
(3) 貯蔵品	393,760	5 資本金	13,730,543,750
資産合計	25,175,992,190	(1) 自己資本金	6,025,182,000
		(2) 借入資本金	7,705,361,750
		6 剰余金	9,411,882,162
		(1) 資本剰余金	9,477,294,638
		(2) 欠損金	65,412,476
		資本合計	23,142,425,912
		負債・資本合計	25,175,992,190

●平成19年度上半期（平成19年4月1日から9月30日）の水道用水供給事業予算の執行状況についてお知らせします。

(消費税及び地方消費税込み表示)

区 分	予 算 額 (円)	上 期 執 行 額 (円)	予 算 残 額 (円)	執 行 率 (%)	
収益的収支	事業収益	3,890,821,000	1,944,121,751	1,946,699,249	50.0
	事業費用	3,651,910,000	2,481,475,730	1,170,434,270	68.0
資本的収支	資本的収入	822,228,000	192,160,000	630,068,000	23.4
	資本的支出	1,767,521,756	868,070,789	899,450,967	49.1



よしきり御案内



軽費老人ホーム“よしきり”は昭和53年に、印旛郡市11市町村で構成される当組合によって、「県立自然公園印旛沼」を望む静かな水と緑に恵まれた環境に設置されました。

居宅で生活する事が困難な方で、身のまわりの事が自分でできる方を対象とし、低額な料金で、健康で・明るく・安心した生活を送っていただけることを目的とした施設です。

定員は50名です。2階建の居室棟を中心に生活をしています。

部屋は全室個室になっており、それぞれ6畳1間の自分の城が保たれています。居室には洗面台や洋式トイレとクローゼットがあり快適な生活を送ることができます。調度品などは好みのものを持ち込む事もでき、外泊や外出、家族や訪問

者の面会も自由になっています。

1階居室は芝生に続く庭に面しており、2階居室はベランダを使用できるようになっています。

庭やベランダは、四季の草花や野菜を育てたりと思ひ思ひの趣味等に利用しています。

食事は栄養管理された献立により決められた時間に食堂で食べます。

入浴は、月・水・金曜日となっています。

また、日々を楽しく過ごせるよう、無理がなくできるだけたくさんの方々が参加できるような行事やクラブ活動を寮母が計画し、行っています。

園庭では、グランドゴルフや運動会等、室内では輪投げやボーリング、羽根っこゲーム等を行います。また、踊りや習字はボランティアの方々に指導していただいています。最近行事に取り入れた“大人のぬりえ”も好評です。子供の時期はぬりえなどすることができる状態ではなかった入所者の方々は、今になってできるとは夢みたいと喜び、巧みな手つきで、色とりどりの色鉛筆やマーカーやスパンコール、ビーズなどの装飾を使用し、鮮やかに美しく“さすが大人のぬりえ”と思われる作品を仕上げます。

他の行事として誕生会があり、職員も一緒にテーブルにつき昼食を兼ねて誕生者を祝福します。忘年会や新年会も欠かせない行事の一つです。

さて、冬立つ頃、地元印旛中学校の生徒さんが職業体験学習の実習に訪れました。日常の寮母の仕事と一緒に体験しつつ、入所者と一緒にいつもより時間をかけて、会話を楽しみながら双子公園を散策しました。

また、地元小学校の2・3年生等、児童の皆さんも交流に訪れ、歌や楽器の演奏や劇で楽しませてくれました。また、子供達にトランプやお手玉や将棋、囲碁などを教わったり、教えたりと童心に帰り楽しそうにしている姿があちらこちらで見られ、ほほえましい限りでした。

そして、印旛村文化協会の皆さんの踊りや詩吟等、また、“つくしの会”の皆さんの歌やフラダンスの慰問もありました。

それぞれに癒される時間を満喫でき、有意義な生活を過ごさせていただき入所者一同大変感謝しております。



(財)印旛沼環境基金からのお知らせです!

当基金の印旛沼に関するいろいろな水質保全活動、特に啓発事業については各市町村が発行する広報紙や当基金のホームページなどを通して定期的に案内しているところですが、今回は、この広報「いんば広域」の発行時期に合わせグッドタイミングなお知らせをいたします。

★★★★★ '08 いんば沼シンポジウム ★★★★★

今回のシンポジウムは、「いんば沼！なにを残し……？ なにを伝えるか……？」をメインテーマに成田市と共催します。

❖開催日時：平成20年2月17日（日） 午前10時～午後4時

❖開催場所：成田国際文化会館（成田市土屋303番地）

❖日 程：《午前の部》 10：00～12：00

第1分科会「保全・保護の立場から……」

第2分科会「利用・供給の立場から……」

第3分科会「歴史・文化の立場から……」

第4分科会「教育・学習の立場から……」

第5分科会「ボランティア活動から……」

《午後の部》 13：00～16：00

◎講 演：13：30～14：30（講師：俳優 永島 敏行氏）

◎全体討論会（フロアディスカッションを含む）：14：40～16：00

❖参加申込方法：午前の部・午後の部の両方もしくは、片方だけの参加も可能です。

住所、氏名、年齢、電話番号、参加を希望される部（午前の部、午後の部、またはその両方）を明記のうえ、下記あてにハガキ、ファックスまたは電子メールにて、お一人ずつ申込みください。午前の部に参加の方は、参加希望分科会を第二希望までお書き添えください。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

❖申込締切：平成20年2月5日（消印有効）

❖定 員：午前および午後のいずれとも300名

❖申込・問い合わせ先：財団法人印旛沼環境基金 住所：〒285-8533 佐倉市宮小路町12番地

TEL：043-485-0397 FAX：043-486-5116

メールアドレス：imbanuma@mb.infoweb.ne.jp

講師 永島敏行氏プロフィール

1977年映画「ドカベン」でデビュー。1978年「サード」、「事件」でブルーリボン賞、報知映画賞、ゴールデンアロー賞映画賞などの新人賞受賞、1981年「遠雷」でキネマ旬報賞、日本アカデミー賞、ブルーリボン賞などの主演男優賞を独占。最近では映画、テレビ、ラジオ、舞台で活躍の傍ら、ライフワークとして米作りに参加、また東京銀座で開催する「青空市場」の実行委員長として食・農をつなぐ活動を展開中（財団法人国立劇場運営財団が2007年10月17日に発行した「たとえば野に咲く花のように」のプログラムより一部引用）

財団法人 印旛沼環境基金 ☎043-485-0397

インターネットホームページをご利用ください。 <http://homepage2.nifty.com/inbanuma>

印旛沼に関わるさまざまな情報を発信しているインターネットホームページ。
上記のアドレスに、ぜひアクセスしてみてください。



佐倉市 第27回佐倉朝日健康マラソン大会参加者募集

美しい印旛沼の景色を眺めながら走る健康マラソンが開催されます。フルマラソンから3kmの部まで参加しやすい種目設定。ベテランからビギナーまでみんな一緒に参加できます。3kmの部は前回大会より一般（16歳以上）の方も参加できるようになりました。参加申込みはまだ間に合います。（2月8日まで）桜の季節、春風をうけながら家族

や仲間、みんなで走ってみませんか？

また、6,000人のランナーが参加し、ゴールを目指して力走します。コース沿道でのランナーへのご声援等ご協力をお願いします。

- 日 時：3月30日（日）
- 会 場：岩名運動公園陸上競技場 ほか
- 申 込 締 切：2月8日（金）
- 問い合わせ：佐倉朝日健康マラソン大会実行委員会 ☎043-485-2929



八街市 第31回八街市生涯学習推進大会

八街市では、市民一人ひとりが生涯にわたって生きがいのある生活と、年齢に関係なく必要なことや興味関心のあることをいつでも学べる生涯学習社会の推進を図るため、八街市生涯学習推進大会を開催いたします。

大会では社会教育委員会議表彰、生涯学習成果発表、記念講演が行われます。特に記念講演では、ベストセラー『もし世界が100人の村だったら』の再話を手がけた作家・翻訳家の池田香代子先生をお招きして、「100人の村、あなたもここに生きています。」と題してご講演いただきます。

- 日 時：2月10日（日）午後1時から
- 場 所：八街市中央公民館
- 問い合わせ：八街市教育委員会 社会教育課 ☎043-443-1464

名 所



酒々井町 春の日差しをあびながら歴史散策－本佐倉城跡－

酒々井町の長い歴史の中で特に脚光を浴びたのは、千葉氏の本佐倉城時代でした。千葉氏の居城が千葉市から本佐倉城へ移った後、豊臣秀吉に滅ぼされるまで、100余年も下総・上総の政治・経済・文化の中心だったからです。城跡の規模は35万㎡にもおよび、現在でも土塁や空堀などがほぼ完全な姿で残されており、貴重な文化財として平成10年に国の史跡に指定されました。

戦国時代を思いうかべながら散策してみたいかがですか。

- 問い合わせ：酒々井町社会教育課 ☎043-496-1171 内線322



白井八景「瀬戸秋月（せとしゅうげつ）」

今月の表紙

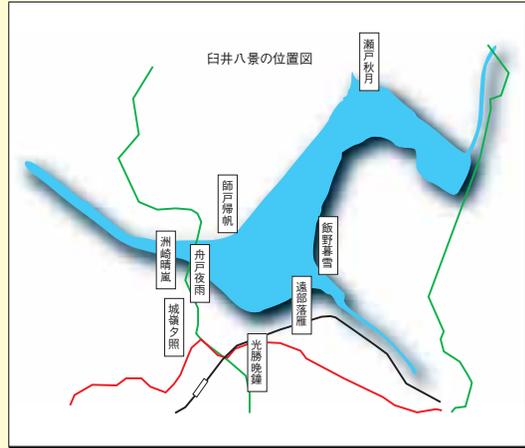
第76号から8回にわたり「白井八景」を順次紹介しています。
佐倉市白井から見える印旛沼の周辺から八か所の秀景を選び出したとされるこの八景（「白井八景の位置図」参照）は、中国の瀟湘（しょうしょう）八景にならい、信齋（本名：白井秀胤。白井城主の子孫にあたる隠士）と宋的（本名：玄海。円応寺二十四世住職）という、この地に住む二人の文人によって、元禄11年（1698）に著されたものです。

5回目となる今回の表紙は「瀬戸秋月（せとしゅうげつ）」です。「遠く瀬戸村の空に、澄んだ月が輝いている。夜も更けて、清らかな風が水面を渡る。月影がさざ波に漂う様は、洞庭湖の秋を想わせる。」と詠われています。

白井八景のうち、いくつかは宅地開発等によりこの地から失われてしまいましたが、沼のほとりからの風景は現在でも美しく残っています。

参考文献

立原三知男著（1999）：「印旛沼周辺の風景を詠んだ『白井八景』」『印旛沼－自然と文化－』第6号，27～34頁。



雑感

私は、自分の仕事の内容を友人に説明するのに苦労します。ほとんどの友人は、地方公務員というと県や市町村の職員をイメージします。私が務めている一部事務組合とは、市町村がお金を出資して、効率的に仕事をするとところだと説明しても、なんだかイメージしにくいようなのです。

消防組合や清掃組合なら理解しやすいと思いますが、私が所属している部署は、どちらかというと直接住民の方と接する仕事は少ないのでなおさらだと

思います。
最終的に友人は、公務員の仕事もいろいろあるんだねと言って納得してくれます。
私の仕事は住民の方から見えにくいものかもしれませんが、公務員の仕事の目的というものは、どんな仕事でも結果的には住民サービスにつながるのだということを経験に銘じ、これからもがんばっていきこうと思います。(T.F)

ダム情報

利根川上流

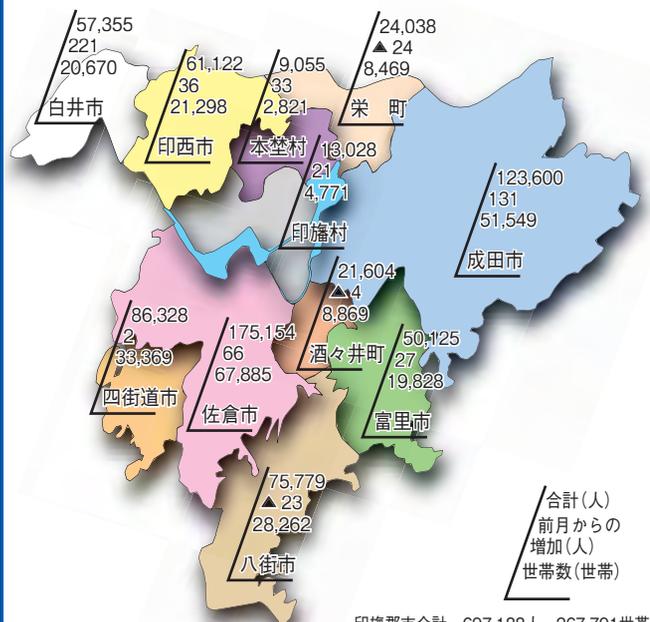
8ダムの貯水状況（12月14日現在）



最新データはこちらにアクセスしてください。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kyoku/river/mzshigen/mizu_02_tone.html

印旛郡市の人口



印旛郡市合計 697,188人 267,791世帯
(住民基本台帳調・平成19年11月末日現在)
毎月の人口は、ホームページに掲載しています。